

これが 22 春闘に本気で向かう

組合員・社員の声だ！ Part③

●経営幹部は職場激励と称しての訪問や意見交換での声の本音であると認識しているのだから、これ以上の経営危機は間違いない！社員の暗い表情やため息が蔓延していることを認識してほしい！

●自分のモチベーションは家族。働きがいばかりでも家族には伝わらない。家族はコロナ禍でも変わらず働いているのに所得が下がっていることに対して不安を抱いている！

●働きがいは全くない。会社は労働者を軽視しすぎている！●同期も転職した。転職を考えている声は増えている！

●何かを達成する意識よりも「マインナスにならないために」という意識に変化してしまっている…

●優秀な人材は会社を離れると思うし、そんな状況で優秀な人材は入ってこない。負のスパイラルに陥っている中で、不安を抱えている社員の受け皿となれる組合になればいいね！

●人材の流出は今後も続きそう

●モチベーションを保っているのは家族と仲間！

●働きがいはないよなあ

●このまま賃金が上がらないのであれば、モチベーションは上がらない！

●賃金によりモチベーションは保たれる！

●モチベーション保つのに必死！

●しわ寄せはいつも末端社員。現場で奮闘している社員がモチベーション保つ

のは、定昇4+ベア満額以外ない！

●いくら社員が奮闘しても賃金が上がらないのでは当然モチベーションは上がらないし、会社へのエンゲージメント向上には繋がらない。

●運転士の仕事は好き。仕事以外でも子育てなど様々なことに追われる生活の中で良い気分転換になっている。これがやりたくない仕事になったら鬱になりそう…

●やりがいでのご飯は食べられません…働くうえで賃金が最大のモチベーション。

●働かせるだけ働かせて給料が下がっていくのでは、何のために生きているのか…

●青年部アンケートで多くの青年部員が転職を考えていることを知り、人材流出は深刻です。人材を繋ぎ止めるためにも目に見える形での対価が必要！

●仕事やっとならたら転職、技術職にはあってはならない！

●職名が無くなり自分が何者なのか分からなくなる。主たる業務に誇りを持ちながら、必然的にやらざるを得ない多能化により自分を高める努力をしていくために定期昇給は当たり前！

●賃金が上がらないのに、いくら働きがいを創出したところでモチベーションなんて上がるわけない。生産性やモチベーションを上げさせたかったら、それに見合う賃金を！

●職場で笑いが少なくなっている。

●やりがいが「搾取」が話題になっていますが、その中身はまさに〇〇じゃないですか！びっくりしました！

●やりがいで生活はできない。

モチベーション

職場の声を受け止め、満額回答を会社はすべきだ！